

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和 6 年 2 月 6 日

公表: 令和 6 年 3 月 28 日

事業所名 さくら総合発達支援センター ホープ

回答率: 79% (19/24人中)

		チェック項目	はい	どちらとも 書えない	いいえ	コメント・意見	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	5			・引き続き児童の特性に応じて対応を検討していく
	2	職員の配置数は適切である	12	6	1		・引き続き児童の特性に応じて対応や改善点を検討していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	7	1		・バリアフリーが必要児童が通所時に環境整備をしていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	13			・営業形態等を見直ししながら職員が参画できるよう体制を整えていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	7			・毎年実施しており、今後も継続していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	4	1		・毎年実施しており、今後も継続していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	12	2		・今後外部からの評価体制を設ける必要がある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	6			・実施できているが偏りがある為全職員が参加できるような体制作りは必要
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	10			・標準化されたツールの使用は無いが、児童の特性に応じた状況判断している ・現在標準化されたツールの整備をしている為、活用していきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	10	2		・実施しており、今後も引き続き継続していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	6	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	8	2		・長期休みには普段実施できていない外出や調理イベントを実施しており、今後も実施していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	7			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	9		・必ずしもできている訳では無い	・日によって実施にばらつきがある為、安定して行えるよう体制作りが必要
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	8	1	・振り返りの時間まで勤務していないため不明ですが必要な時には丁寧に相談に乗っていただいています	・日によって実施にばらつきがある為、安定して行えるよう体制作りが必要
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	4			・日々徹底している為、今後も継続していく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を行っている	10	9			・実施しており、今後も引き続き継続していく	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15	4			・こちらからは連携が取れるよう小まめに連絡は取っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	15	4			・こちらから連絡することも少なくないが、病院側との時間の調整が課題である
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	15	4			・保育所等訪問支援等活用し、相互理解に努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	7	3	・該当児童がいなかったため実施無し ・その年齢の児童がいない	・該当児童がいなかったため実施無したが、今後必要に応じて実施できる体制作りをしていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	10	1		・実施しており、引き続き継続していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	12	5		・感染症の影響もありなかなか機会の確保ができていなかったが、今後は機会を設けていきたい

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	15	2		・実施しており、今後も引き続き継続していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の様況や課題について共通理解を持っている	16	3			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	11	2		・家族会を計画しており、継続して行えるよう体制を整えていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	5			・契約時に実施している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	17	2			・送迎時や連絡帳等を通して実施しており、引き続き必要に応じて実施していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	14	2		・家族会を計画しており、継続して行えるよう体制を整えていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	12		・会報の発行はわからないが、情報の発信はしている	・SNSを使用し発信しており、今後も継続して実施していく
	35	個人情報に十分注意している	16	3			・SNSを使用し発信しており、今後も継続して実施していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17	2			・口頭だけでなくLINEやHUG等様々なツールを用いて配慮することが出来ている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	9	7		・必要に応じて計画していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	7			・実施できているが偏りがある為全職員が参加できるような体制作りは必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	4			・年間計画を立てて実施しており、今後も引き続き継続していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	7			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	6			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15	4			・現在該当児童いないが、在籍時はアレルギー対応を実施している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	2			・実施しており、今後も引き続き継続していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。